

北陸相統診断士会 笑顔相統落語 in 北陸

思い出を残す大切さの理解深める

北陸の相統を笑顔にするために活動する北陸相統診断士会は6月1日、富山県富山市の富山県民共生センター サンフォールテで第2回笑顔相統シンポジウム「笑顔相統落語 in 北陸」を開催した。相統診断協会の後援で開かれた同シンポジウムには約270人が参加し、第1部の「笑顔相統落語」、第2部の「公開エンディングノート書き方劇場」を通じて、思い出を残すことの大切さや、「争族」と「笑顔相統」の分岐点などについて理解を深めた。

機会にしてほしい」と話した。

第1部では、落語家の桂ひな太郎師匠が笑顔相統落語「天国からのラフレター」を披露した。「天国からのラフレター」は、生前に相統を準備することの大切さを周知する目的で、相統診断協会とひな太郎師匠が創作したオリジナル落語。事故で亡くなった父親の山田元三(元さん)とそ

開会に当たってあいさ
に必ず関係する。誰かが
つした北陸相統診断士会
の川口宗治会長は「相統
は、自分自身の人生を大
切に生きる全ての人、家
族を大切に思う全ての人
誰かを大切に思う気持
なる、そんな大切な人が
きつ」と思う。今日
は皆さん、その大切な人
を心に思い浮かべなが
ら、相統の本質に触れる



川口氏

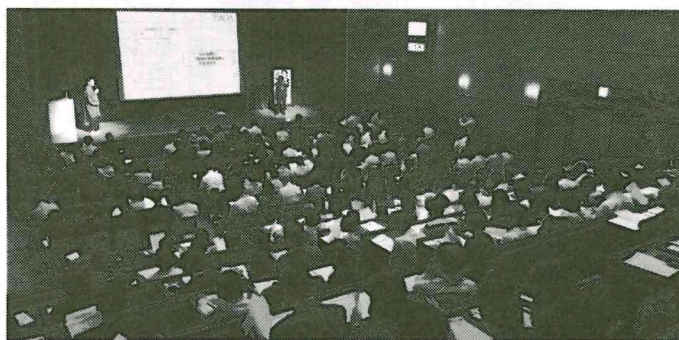


小川氏

の子ともたちの相統をめぐ
る物語で、遺言書だけ
でなく生前に親の思いを
子どもたちに伝えること



落語で思いを伝える大切さを説くひな太郎師匠



シンポジウムは参加者が笑顔相統を考えるきっかけとなった

が大切だと説く。落語の
後、税理士とはなし家が
相統について解説する。
「笑顔相統落語」は全
国各地で催されており、
これまでに1万5000
人以上が落語を楽しみな
がら相統問題の認識を高

め、相統の準備を始める
きっかけとしてきた。今
回のシンポジウムでも、
来場者に分かりやすく
「笑顔相統」とは何かを
伝えた。

第2部の「公開エンデ
ィングノート書き方劇
場」では、北陸相統診断
士会が出演し、壇上でエ
ンディングノートを書く
実演を行った。会場の来
場者は実演を見るだけで
なく、一緒にエンディン
グノートに自分の略歴や
家族への思いを記した。

参加したある相統診断士
の母親は「大切な人」の
欄に「富山に戻ってきた
息子」と書いた。息子で

相統診断協会が後援

ある相統診断士は「今日
は連れてきて本当によか
った。これからはもっと
…」と言葉を詰まらせ
た。

閉会のあいさつで相統
診断協会の小川実副理事
長は「皆さんも遺言を書
くことを、今までの人生
を『ああ良い人生だった
な』と振り返り、しっか
りと準備して、子どもた
ちと一緒に明るい余生を
送るきっかけにしてほし
い。気軽な気持ちで書い
て、長生きをして、これ
からの日本を見守り、明
るい家族をます、この富
山、北陸の地から始めて
ほしいと思う。そして、
「遺言を書いたら、こん
な良いことがあるよ」と
いう声をわれわれは日本
全国に広めていきたい」
と述べた。

相統診断協会は、1件
でも多くの「争族」を減
らし、「笑顔相統」を普
及するために、エンディ
ングノートの推進と相統
診断士の育成に尽力して
おり、日々、北陸の相統
と向き合っている有志の
相統診断士で設立した
「北陸相統診断士会」を
後援している。